

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度12月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

### 事業名 新 スマート農業技術導入加速化支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農政課スマート農業推進室 電話番号：058-272-1111(内 2809)

E-mail： c11411@pref.gifu.lg.jp

#### 1 事業費 補正要求額 35,000千円 (現計予算額：0千円)

##### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	35,000	35,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### 2 要求内容

##### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

高齢化や人口減少が進み、農業経営体の減少が深刻化する中、ポストコロナを見据え、今後のデジタル化や、中山間地域等の人口減少等に対応し、本県農業の生産基盤の維持・強化を図るため、省力化や生産性向上に資するスマート農業技術を広く普及する必要がある。

しかし、先端技術であるスマート農業は、慣行技術と比較して、労働時間が削減されるなど強い生産基盤の構築に資する一定の効果があることが確認できたものの、機械費が高くなるなど経営費が嵩むといった傾向が見られることが、現場実装上の課題となっている。

このようなスマート農業の課題を解決するために、生産現場で生産性向上効果が確認されつつあるスマート農業機械の一括購入や共同利用により、導入経費の負担軽減を支援し、スマート農業の全県展開と農業の生産性向上を図る。

## (2) 事業内容

- ・農業者の組織する団体が、同一型式の機械5台以上を共同で購入するにあたり、定価より10%以上低く購入する取組を支援する。
- ・複数の経営体がスマート農業技術を共同利用するためにスマート機械等を導入する取組を支援する。

## (3) 県負担・補助率の考え方

国 10 / 10 補助率 1 / 2、2 / 3 以内

## (4) 類似事業の有無

スマート農業技術導入支援事業費補助金

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	35,000	共同利用等を目的にしたスマート農業機器の導入経費
合計	35,000	

### 決定額の考え方

ニーズが確認できないことから計上を見送ります。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置付け

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019～2023年度）  
Ⅱ－3－（3）－② 「未来につながる農業づくり」の推進
- ・ぎふ農業・農村基本計画（2021～2025年度）  
第6章 ③本格的な人口減少下でのスマート農業の全県展開
- ・岐阜県スマート農業推進計画（2019～2023年度）  
重点施策（1）情報集約・発信

### (2) 国・他県の状況

- ・「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」  
Ⅲ－1－（2）－③
- ・全国で同様の事業が実施される見込みである。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 省力化効果や効率駆な営農体系の構築に資する機器を農業者が実際の生産現場で使用できる機会を創出することで、スマート農業技術の導入・普及を図る。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
スマート農業技術導入経営体数	1 1 6 (H29)	1 6 8 (H30)	2 3 8 (R 元)	3 4 5 (R2)	5 5 0 (R5 )	6 2 %
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	スマート農業技術の導入・普及が進むことで、農業経営規模の拡大や高品質生産が進むことから、事業の必要性が高い。 ○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 スマート農業技術の導入・普及を促進するためには、農業者に対して、地理的条件や品目に応じた技術導入の効果やメリットについての理解促進を図る必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県農業の抱える課題解決のために、スマート農業が大きな役割を担っていることから、今後も継続して、スマート農業技術の県内への導入・普及を図っている必要がある。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】